

広重賞

第22回

恵那市こども版画コンクール

作品集

主催：恵那市教育委員会、(公財) 中山道広重美術館

後援：恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、恵那市商店街振興組合、(一社) 恵那市観光協会
(公財) 恵那市文化振興会、恵那市小中学校校長会、明知鉄道株式会社、(公財) 日本大正村
恵那ライオンズクラブ、恵那ロータリークラブ、(一社) 恵那青年会議所

協力：岐阜県ポーランド交流協会

ごあいさつ

「広重賞 恵那市こども版画コンクール」は、こどもたちに版画制作の楽しさを知ってもらうこと、また制作の過程を通して、生まれ育ったふるさとの風景や身近な人々との関わりをあらためて見つめ直してもらうことを目的に、平成 16 年（2004）から開催しています。22 回目を迎えた本年度は、恵那市内 33 のこども園・保育園・小学校・中学校から、2,355 点もの作品をご応募いただきました。厳正なる審査の結果、172 点の作品が入賞・入選作品として選ばれました。なお、今回からは年齢別に未就学児部門、小学生低学年部門、小学生高学年部門、中学生部門の 4 部門を設けました。各部門より、優秀賞として広重賞、恵那市長賞、恵那市議会議長賞、恵那市教育長賞、中山道広重美術館館長賞をそれぞれ 1 点ずつ選出し、さらに広重賞 4 点から最高賞である大賞を 1 点選出しています。本作品展では、これら全 172 点の作品を一堂に展示いたします。いずれも、遊びや学びの中から生まれた、こどもたちの力作ばかりです。ぜひ一つ一つご鑑賞ください。

また本年度より、新たな取り組みとして、中学生部門で優秀賞を取めた生徒の中から 2 名を、日本美術技術博物館マンガ（ポーランド共和国クラクフ市）へ派遣する事業を開始いたします。本事業は、中山道広重美術館が同館と友好協力協定を結んでいることを契機に実現したもので、文化交流と学びの機会を提供することを目的としています。3 月下旬には、生徒 2 名が現地を訪問する予定であり、こども版画コンクールを通じた国際的な文化学習の場となることを期待しています。

最後に、本コンクールの開催にあたり、多大なるご協力とご支援を賜りましたこども園、保育園、小学校、中学校の先生方、選考委員の皆さまをはじめ、（公財）恵那市文化振興会、恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、恵那市商店街振興組合、（一社）恵那市観光協会、恵那市小中学校校長会、明知鉄道（株）、（公財）日本大正村、恵那ライオンズクラブ、恵那ロータリークラブ、（一社）恵那青年会議所の後援各団体の皆さま、ならびにポーランド交流事業にご協力いただきました岐阜県ポーランド交流協会、（公財）伊藤青少年育成奨学会の皆さまに、心より感謝申し上げます。

令和 8 年 2 月

恵那市教育委員会

公益財団法人中山道広重美術館



中学生部門 広重賞(大賞)「記憶の片隅に」(中学3年生作品)

第
22
回

広重賞 恵那市こども版画コンクール

広重賞作品展

会期

2月17日(火)~3月1日(日)

中山道広重美術館展示室 2(2F)

※この作品展に限り観覧無料

●ご入館の際は受付にお声がけください。

主催: 恵那市教育委員会、(公財) 中山道広重美術館

後援: (公財) 恵那市文化振興会、恵那商工会議所、恵那市恵那商工会、恵那市商店街振興組合、(一社) 恵那市観光協会、恵那市小中学校校長会、
明知鉄道株式会社、(公財) 日本大正村、恵那ライオンズクラブ、恵那ロータリークラブ、(一社) 恵那青年会議所

協力: 岐阜県ポータル交流協会

企画展

浮世絵東海道旅の空

一隸書東海道を中心に

会期

1.22(木)~3.29(日)

前期 1.22(木)~2.23(月・祝)

後期 2.27(金)~3.29(日)

●この企画展には観覧料が必要です: 大人 520円 (20名以上の団体は 420円) ▲18歳以下、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

中山道広重美術館
Nakasendo Hiroshige Museum of Art
〒509-7201 岐阜県恵那市大井町 176-1
TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322
HP <https://hiroshige-ena.jp>

【中山道広重美術館センター 常設常設企画展】
○恒設企画展: 浮世絵展、浮世絵展
○企画展: (1) 江戸絵巻、浮世絵展、(2) 浮世絵展
●企画展: (1) 浮世絵展、浮世絵展、(2) 浮世絵展
(1) 浮世絵展、(2) 浮世絵展、(3) 浮世絵展、(4) 浮世絵展

QRコード
QRコード
QRコード
QRコード
QRコード
QRコード
QRコード
QRコード
QRコード
QRコード

広重賞 第22回恵那市こども版画コンクール

総応募数: 2,355点

入賞・入選数: 優秀賞 20点、特別賞 11点、奨励賞 17点、入選 124点

作品展: 2026年2月17日(火)~3月1日(日)

中山道広重美術館 展示室 2(2F)および廊下

表彰式: 2026年3月7日(土) 午後1時30分~、3時00分~(2部制)

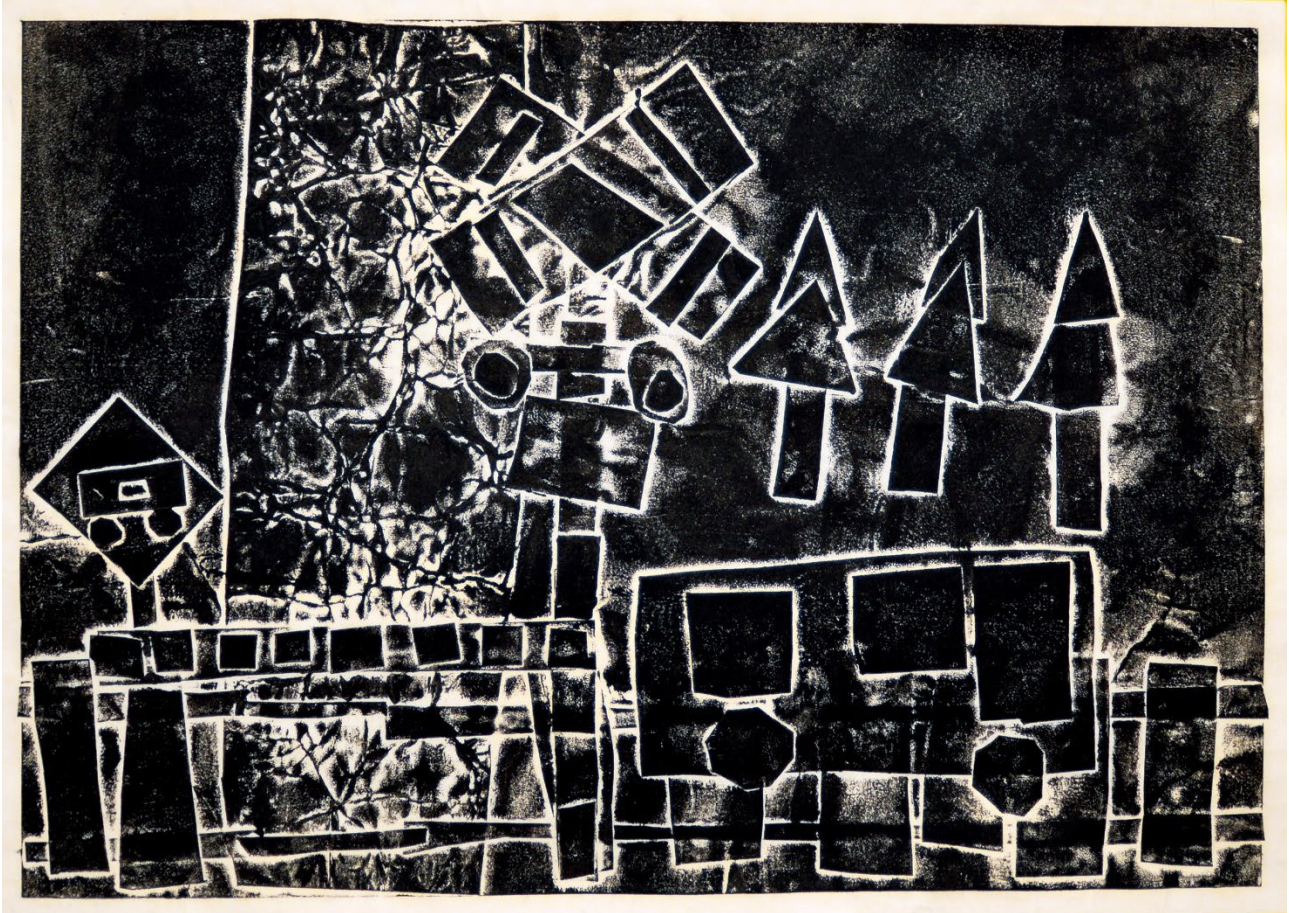
中山道広重美術館 展示室 2(2F)

広重賞

未就学児部門

「ふみきりがかんかんかん！ってなっているよ」

東野こども園年中



<受賞者のコメント>

ぼくのだいすきなふみきりをつくったよ。あけちてつどうがとおって、カンカンカンとふみきりがなっているよ。がんばったところは、しゃだんきです。ちいさいしかくをたくさんきって、ひとつずつはりつけました。

広重賞

小学生低学年部門

「とべたー」

三郷小学校3年



<受賞者のコメント>

学校の体育の授業で跳び箱運動に取り組みました。6段にチャレンジしてみると、着地がむずかしかったです。ふみきりを両足でトンとして、手をしっかり広げて跳ぶと着地がきまりました。その時の自分の手をよく観察して紙版を作りました。

広重賞

小学生高学年部門

「ホワイトタイガー」

大井第二小学校5年



<受賞者のコメント>

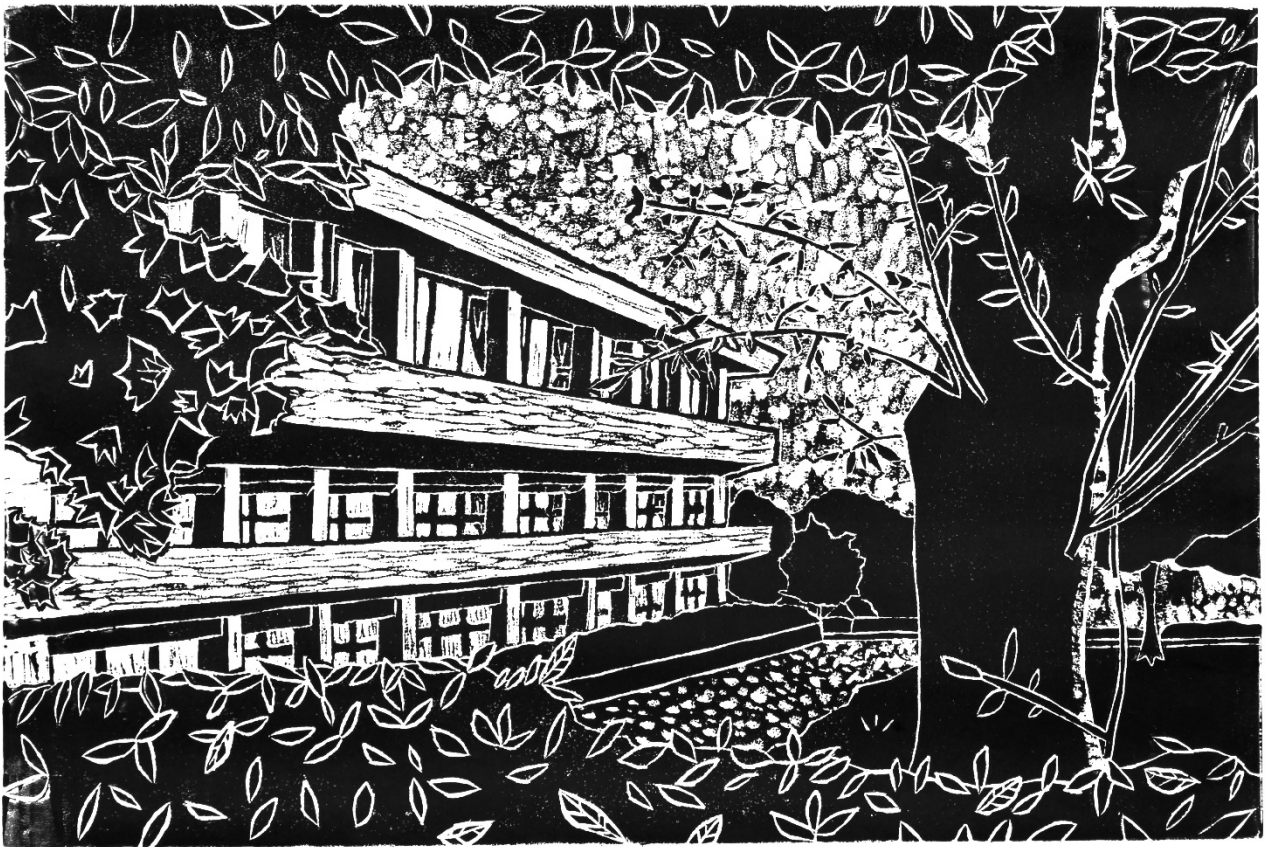
私の作った作品は、ホワイトタイガーです。目の色を金色にし、よりかっこよく仕上げました。作っている時、クラスの仲間は、「ゆうしょうできるよ。」と応援してくれました。その言葉でゆうしょうを目指してかき上げました。

広重賞大賞

中学生部門

「記憶の片隅に」

岩邑中学校3年



<受賞者のコメント>

これは今年閉校してしまう岩邑中学校を彫った作品です。三年間過ごした岩邑中学校、いつかその記憶もおぼろげになってしまう、そんなことを思いながら儚く、優しく彫ることを意識しました。葉を一枚一枚丁寧に彫ることに気をつけました。

恵那市長賞

未就学児部門

「もしかめができるようにがんばるぞ！」

中野方こども園年長



<受賞者のコメント>

けんだまで、もしかめをがんばっているところをつくったよ。たまがおさらにつけるみたいにするところと、ひものかたちをつくるところがむずかしかったよ。もしかめがさいごまでできるように、100 かいれんしゅうをがんばるよ！

恵那市長賞

小学生低学年部門

「美しい桜」

串原小学校2年



<受賞者のコメント>

くしはらのさくらは、とてもきれいなので、はん画にしました。さくらの花びらがふわふわに見えるように、毛糸やアルミホイルをつかいました。いろんな形に切ったりはったりするのが、むずかしかったけど、楽しかったです。

恵那市長賞

小学生高学年部門

「夕暮れどき悲痛にもがくたった1羽のよだか」

長島小学校6年



<受賞者のコメント>

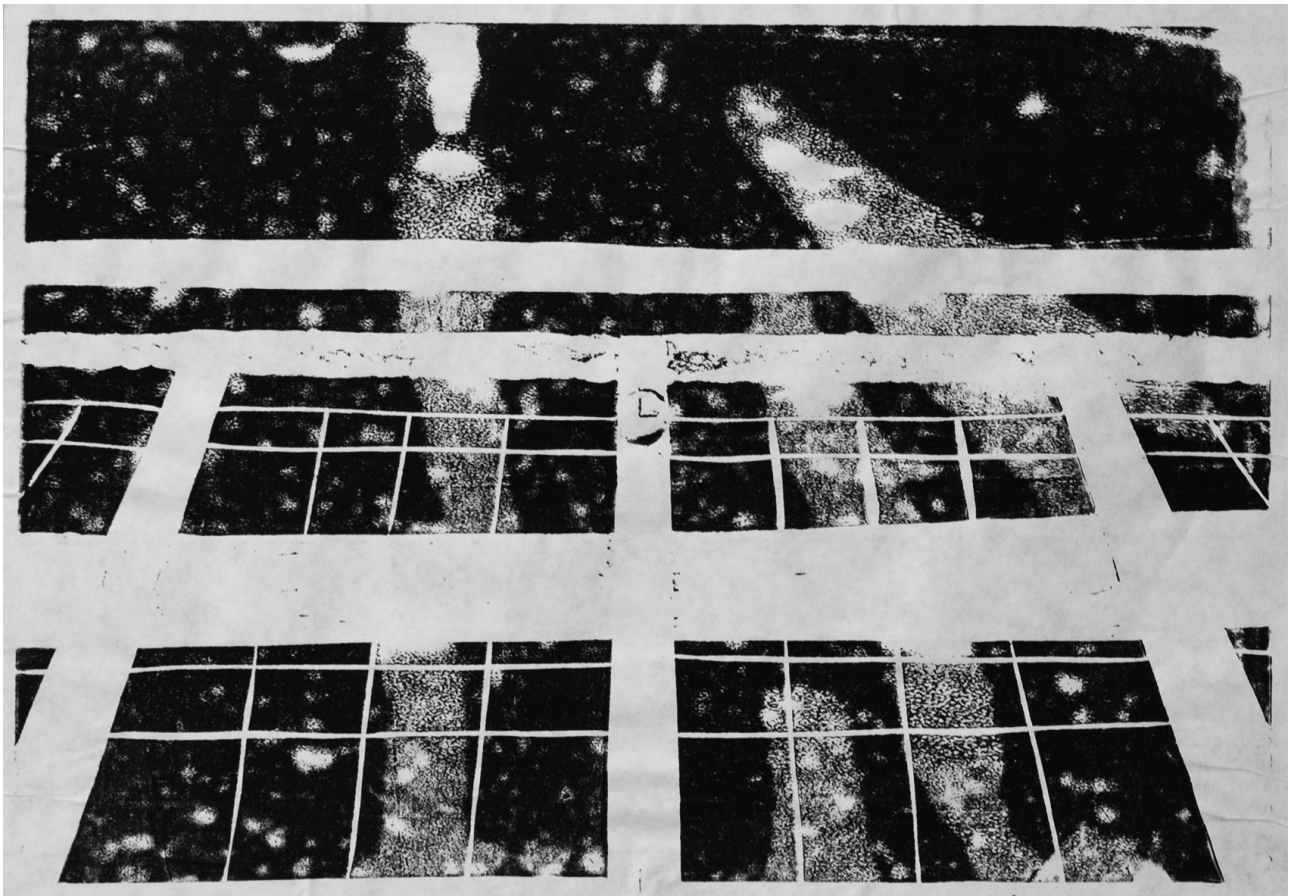
宮沢賢治の『よだかの星』のよだかが鷹の言葉で、一人泣いている場面を表現しました。工夫した所は、涙を流す様子や夜に近い夕方を表現することで、ぽつんと一人寂しくたたずむ心情を表した所です。彫りでは、羽の模様がきれいに浮き出るようにしました。

恵那市長賞

中学生部門

「光が差し込む校舎」

明智中学校1年



<受賞者のコメント>

私の学校はもうすぐ閉校してしまうので私の一番思い出に残したい校舎を版画にしました。また、下から見上げていることがわかるように、遠近法を意識したり黒と白のバランスがかたよりすぎないようにするなどの工夫をしました。

恵那市議会議長賞

未就学児部門

「劇の絵「猛獣がおいかけてきたー、早く逃げなきゃ」」

山岡こども園年長



<受賞者のコメント>

つるにつかまって、もうじゅうからにげているところだから、がんばっているふうにしよ
とおもった。おおきく、くちをあけて「あーあ、あー。」っていつているようにつくったよ。

恵那市議会議長賞

小学生低学年部門

「天にほえる龍」

恵那北小学校2年



<受賞者のコメント>

龍には天気を変える力があると言われています。寒い冬、春を待ちわびる花や動物を想い、雪を解かし雨を降らせる龍を描きました。春を呼ぶために天にほえる龍です。

龍の体は円を描くようにしました。空の上で大きく回って天に雨を乞う姿をイメージしました。

恵那市議会議長賞

小学生高学年部門

「えないっぱい給食を食べて一言「白米が一番」」

東野小学校5年



<受賞者のコメント>

私が描いた作品は、恵那いっぱい給食で白米を食べているところです。制作中一番頑張ったところは、おいしそうに食べている表情にしたことです。これからもおいしい米を作ってください方や、給食センターの方々に感謝しながら給食を食べたいです。

恵那市議会議長賞

中学生部門

「季節外れの椎茸の木」

恵那西中学校3年



<受賞者のコメント>

この作品は、毎年祖父が育てている椎茸の木です。収穫が待ち遠しい、ほだ場に立てかけている椎茸の木を描きました。

木や葉のぼこぼこした質感や、木の細かな木目を工夫し、丁寧に彫りました。

恵那市教育長賞

未就学児部門

「じゃっくとおいものき」

おさしま二葉こども園年長



<受賞者のコメント>

おいもほりで、おおきなおいもがほれたところをはんがにしました。ひとつひとつを、こまかくていねいにきってはりつけるところと、おおきなおいもをつくる場所、はっぱのかたちをは一とにするところをがんばりました。たのしかったです。

恵那市教育長賞

小学生低学年部門

「きまった」

岩邑小学校3年



<受賞者のコメント>

けん道の練習で、「どう」が一本入ったところをつくりました。いきおいにのって、かみがなびく様子を毛糸で表しました。手の指は、しっかり竹刀をにぎるようにしました。かたからのびるうでの角度に気をつけ、まっすぐうでのびるようにしました。

恵那市教育長賞

小学生高学年部門

「白川郷」

大井第二小学校5年



<受賞者のコメント>

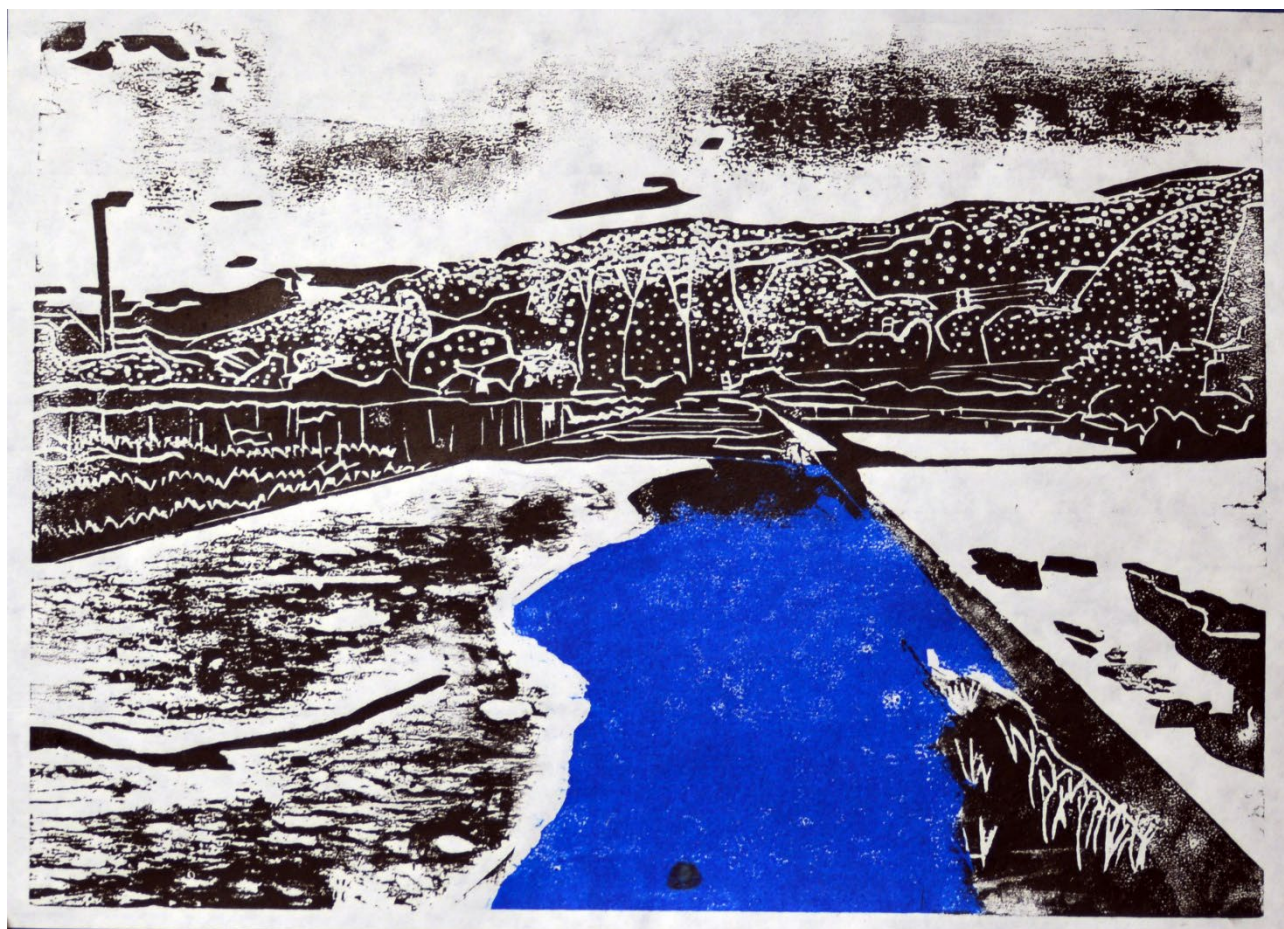
この作品は、岐阜県の白川郷をかいた作品です。かいたきっかけは、岐阜県の世界遺産だからです。一番頑張ったことは、彫刻刀でほる所と色をぬる所です。特に、色の濃さや雪の表現を工夫しました。

恵那市教育長賞

中学生部門

「なにげない日常」

恵那西中学校3年



<受賞者のコメント>

僕は、いつも歩いている通学路の絵を描き、版画にしました。

遠近法を感じるように道を奥に行くにつれて幅が短くなるようにして、そこを強調するため、色を青くしました。

地味だけど、どこか雰囲気のある絵にできました。

中山道広重美術館館長賞

未就学児部門

「わたしのすきなもの～イルカとブルーガとくるま～」

大井こども園年中



<受賞者のコメント>

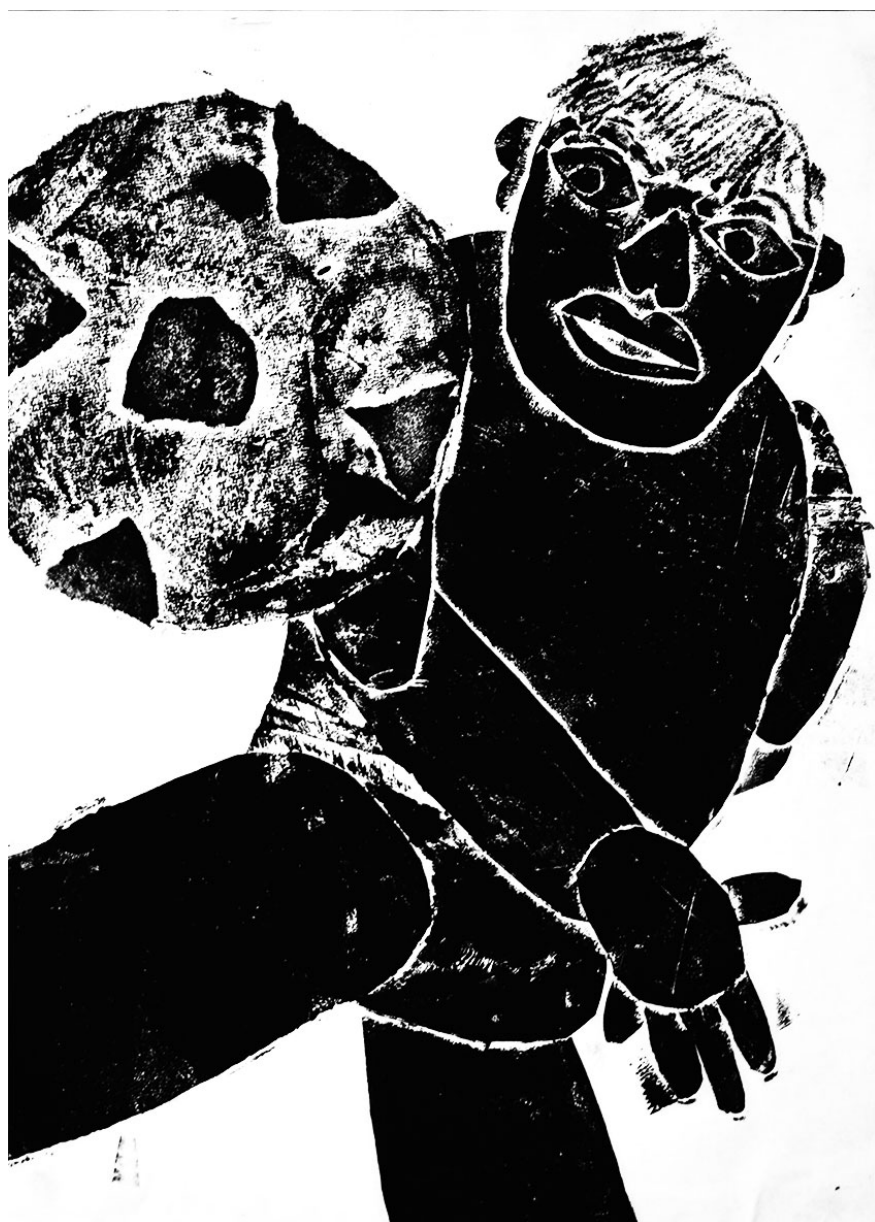
なごやこうすいぞくかんで、いるかとブルーガをみてだいすきになったよ。わたしがブルーガをみているところだよ。いるかは、おきにいりのかいをもっているよ。わたしはくるまもだいすきで、タイヤのせんをつくるどころをがんばったよ。

中山道広重美術館館長賞

小学生低学年部門

「ゴールきめるぞ」

岩邑小学校3年



<受賞者のコメント>

サッカーの試合で、シュートを打った場面です。エふうしたところは、キックをした右足です。けているように、ひざをあげました。ボールは、フェルトのぬのはってつくりました。大きなボールを体の前に出したら、手前にとんでいく感じになりました。

中山道広重美術館館長賞

小学生高学年部門

「赤いはなのトナカイ」

大井第二小学校6年



<受賞者のコメント>

一番頑張ったところは、色がちゃんとうつるように確認しながら絵の具をぬったところと、遠近法を使ってトナカイが前、家が後ろに見えるように工夫して板を彫るようにしたところです。

中山道広重美術館館長賞

中学生部門

「一輪のタンポポ」

恵那西中学校3年



<受賞者のコメント>

道端に咲いた一輪のタンポポに目が留まりました。近くには仲間もおらず寂しそうでしたが、力強く真っ直ぐ凛として立つ姿を版画にしようと思いました。花びらの細かい部分を彫るのに苦労しました。花が際立つように背景を彫らない工夫をしました。

特別賞

恵那市文化振興会会長賞
「音楽室のピアノ」
明智中学校1年



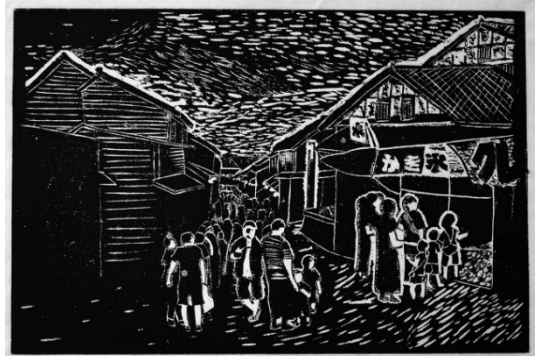
恵那市商店街振興組合理事長賞
「「なんだっけ…」思い出している自分」
飯地小学校4年



恵那商工会議所会頭賞
「10年後の自画像」
山岡中学校3年



恵那市観光協会会長賞
「黄昏時の夏祭り」
岩邑中学校2年



恵那市恵南商工会会長賞
「全力でおどった最後のよっちょれ」
上矢作小学校6年



恵那市小中学校校長会会長賞
「金次郎さんおはよう」
岩邑中学校3年



明知鉄道社長賞
「あけちてつ道を見るじぶん」
明智小学校2年



恵那ロータリークラブ会長賞
「コマドリ」
恵那東中学校1年



日本大正村理事長賞
「このタレどうやって作るんだろう？おいしい！」
岩邑小学校3年



恵那青年会議所理事長賞
「がんばった空手」
武並小学校6年



恵那ライオンズクラブ会長賞
「最後の力をふりしぼれ」
中野方小学校4年

